

2016年8月25日

ビエンチャン（ラオス）で ITI-FEB NUOL セミナーを開催

ITIはラオス国立大学経済・経営管理学部との共催で「Developing Human Resources with International Competitiveness」をテーマに大学院生や教員を対象に同学部で講演会を開催した。セミナーには30名が参加した。

社会主義体制から市場経済に移行してまもないラオスでは、中核となる人材が不足している。講師の高橋与志広島大学大学院国際協力研究科准教授は、タイの自動車産業の裾野を底上げした日系メーカーの人材育成プロジェクトを事例として取り上げ、技術・技能系人材育成に対する日系企業の貢献とラオスなど後発工業国への展開の可能性について論じた。

講演後の質疑応答では、ラオスからタイへの人材流出が続いていることへの対応策や、国レベルで人材育成とニーズのマッチングを図っていくための施策などについて活発な議論が行われた。

なお、本セミナーは公益財団法人 JKA の助成を受けて実施した。



ラオス国立大学経済・経営管理学部